

年金者 しんぶん

全日本年金者組合
神奈川県本部

〒231-0032 横浜市中区不老町2-8不二ビル2F

TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062

メール:nenkinkanagawa@nifty.com

1月31日現勢	組合員	10,720人
	機関紙	6,489部
	100万署名	32,372部

年金積立金を株に使うな。18兆円の損失(週刊朝日)

私たちの裁判を東京に移送するな!!

国が年金違憲裁判に横やり



屈せず違憲で争う

横浜地裁を包囲 250人が抗議

全国の都道府県で争われている「年金削減違憲裁判」は国の嫌がらせを

15日、横浜地方裁判所に提訴した神奈川県。それから半年たった1月25日、やっとこぎつけた「第一回口頭弁論(裁判)」が、



年金裁判を横浜地裁で開けと唱和する原告団(1月25日)

直前になって、国・厚労省が横浜地裁に「年金裁判を高裁のある東京地裁に移送せよ」と申し入れ、それに地裁が屈する形で「口頭弁論が中止」になりました。



溢れるほど集った集会

「移送」? 「社会保険審査会長」名の「却下通知書」に「お住いの地裁に取消の提起ができる」ということから全国の原告は地裁に提訴。今になって国、厚労省は「審査会長の誤教示だ」と聞き直り、高裁のある東京に「移送」すると言うのです。

急きよ「裁判中止」の抗議 地裁を包囲
この日、全県から原告、組合員、弁護団250人が

実増 307人は久方ぶり

署名や裁判と一緒に運動

昨年秋の仲間増やし月間で、5年前に1万人を突破した勢いを思い出させました。484人増やし307人の実増、過去最高の組合員数1万789人となりました。全国で

も一、二の出来でした。目標達成は15支部、拡大率2・92%、達成率53・52%。月間の序盤で

年金を毎月支給して

衆参議員に全訪問



国会議員要請が1月20日、神奈川県からも61人が参加し行われました。要請内容は、①年金の毎月支給②年金受給資格の25年から10年に、など。写真は共産党清水ただし議員(左)と平塚支部の仲間。

年金を毎月支給して、衆参議員に全訪問。国会議員要請が1月20日、神奈川県からも61人が参加し行われました。要請内容は、①年金の毎月支給②年金受給資格の25年から10年に、など。写真は共産党清水ただし議員(左)と平塚支部の仲間。

共同墓所
春の墓前祭
4月20日(水)11時 南葉山霊園

好大奇心

学生にとって受験の重圧がかかる季節です。な人の問題ではなく多くの国民にとって、貧困がすぐ身近にあり、ごでない状況だ。OECDが発表した日本の相対的貧困率は16・1%は加盟国中ワザ人間はみな平等であり、国民が自立してこそ国は独り立ちする

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」「一身独立して一国独立する」と福沢諭吉は説いて、人間はみな平等であり、国民が自立してこそ国は独り立ちする。1スト6位だ。とりわけ女性と子どもの貧困は深刻で「一人親家庭」の子どもの貧困率は54・6%と加盟34カ国中最悪である。貧困世帯の大学進学

率にも大きな差があり、さらに苦勞して大学を卒業してからも困難が付きまとう。奨学金利用者は全大学生の52%。社会人になって奨学金の返済ができない滞納者は33万人にのぼっている。奨学金滞納者の多くは非正規雇用だ。人間はみな平等でありましょうか? 頑張っても貧困から抜け出せない人たちの抜本的な対策は、大企業減税や軍事費を見直せばできる。(妖光)

余りが横浜地裁に駆けつけ「裁判をする権利を奪うな」「東京に移送するな」と地裁に申し入れ、県庁、横浜公園周辺で理不尽な国の嫌がらせに抗議の宣伝を行いました。その後、県本部会議室で溢れ出るばかりの仲間が集まり「裁判報告集会」。

参加者たちは口々に、「減額処分の取り消し訴訟」で争う、仮に「移送」となった場合でも、不服の「抗告」をしつつ「東京地裁で堂々とたたかう」ことを意思統一しました。

金沢支部が目標をやりあげリズム作りの役を果たし、旭、戸塚、横浜みなみ、港南、港北など、大きな支部の達成で全県を励ました。特に横浜ブロック18支部が三ヶ塔の組合員を増やし牽引車となりました。支部役員活動など、組合全体で取り組む運動と一緒に成果を上げた月間でした。

年明け後の全県財政担当委員会、支部機関紙交流会、全県支部交流会などで新加入者を温かく迎える活動が試されています。〔目標達成支部〕金沢、港南、旭、横浜みなみ、戸塚、栄、麻生、座間、相模原・東・南、西、北、大井町、南足柄

役員のプロック選出や高齢女性の生活実態調査などの運動で発揮された女性のパワーに感謝です。みなさんに心から感謝申し上げます。

一に育て上げました。良かったことばかり

前会長 大貫多喜子さん



新任の会総会が1月22日開かれ、6年間会長を務めた大貫多喜子さん(横浜みなみ支部)が退かれ、新たに県本部副委員長の

新会長に村田泰子さん

県本部女性の会総会

第12回神奈川県本部女性の会総会が1月22日開かれ、6年間会長を務めた大貫多喜子さん(横浜みなみ支部)が退かれ、新たに県本部副委員長の

村田泰子さん(中支部)が就任しました。

大貫さんは松川前会長からバトンを受け、特に運動面で知恵を発揮して、

神奈川の女性の会を全国

新体制にて



県女性の会第12回総会

1月22日、県本部会議室で「女性の会第12回総会」が開かれ81人が参加しました。

中央本部の馬場目トミ子女性部長が「神奈川の女性の会が全国を引っ張っている」とのあいさつに大きな拍手がわきました。

活動報告では「介護問題プロジェクト」の旭、行政に働きかける伊勢原、楽しむ行事の企画と実行の茅ヶ崎、さわやか女性をつどいで頑張った県央小田原



女性の会、新しく決まった役員の方々の皆さん

今後の方針として①年金者組合を知ってもらうのもっと大きく②プロック会議中心に交流などを決めました。総会に先立ち増本一彦弁護士講演がありました。(大蔵敦子)

村田泰子会長の話

役員さん、幹事さんと一緒に高齢女性が安心して暮らせるように頑張っていきたいと思っています。



題字 茅ヶ崎支部 藤田香代子 ▶12◀最終回

一番新しい幻の湯

「箱根七湯」
一七湯の中でいちばん新しく平成5年

(1993)に誕生しました。
昭和62年(1987)に駒ヶ岳ロープウェイ北側に噴出してできた温泉です。

富士山の見える湖畔の温泉

「芦之湖温泉」

昔から箱根では「富士の見える場所に温泉は湧かない」と言われてきましたが、昭和41年(1966)に湯の花温泉から湯を引いて生まれたのが、芦ノ湖温



芦ノ湖温泉・飛龍の滝

泉です。史跡の宝庫でもあります。毎年1月2日、3日に開催される、関東大学箱根駅伝でも有名です。

以上、箱根一七湯を紹介してきましたが、一七湯それぞれの温泉場として、歴史、文化、趣があります。一七湯めぐりをして、その実感を味わってみたらいかがですか。きつと一生の思い出になるでしょう。オモテナシの町、箱根町がお待ちしています。長い間のおつき合いありがとうございます。

(小田原支部 村石弘雄)

「湯本に立つ」その後の村石さん

いま高校前でも募金活動

「突然、お迎えが来ても不思議ではない」と言われ、自分でも日常生活の中でそう感じています。しかし、いろいろな問題が多すぎます。年金だけではなく、他の社会保障、戦争法、憲法改悪などキリがありません。



以前、紹介した小田原支部の村石弘雄さん。年金引き下げ反対を小田急の湯本駅で黙って立って訴え、効果も上げてきました。今は行動範囲を広げて、場所を選ばず、時間があれば何処でも、例えば県本部に来る途中、桜木町駅前でも行いました。

マクロ経済スライド制改悪法を撤回させよう

昨年暮れ、28年度政府予算案の閣議決定により、28年度の年金額改定

年金減額に執念の安倍政権 物価上昇時にまとめて減らす

率はゼロとなる見込みで、マクロ経済スライドは発動されないという報道がありました。しかし、最近の報道では、現道が実現した場合には、物価が上昇し、最新の報道では、現在のマクロ経済スライドのルールを見直して、改悪法案を3月上旬に国会提出しようとしています。

みんなの意見交換をします。そこに若者が多く来

ますので年金問題を絡めて訴えています。また、高校前でも同じように火山と年金の話があります。反応は思いのほかありました。年金削減違憲裁判カンパでは学生たちから1万円以上ありました。そして、村石さんの夢は年金等の問題を日本を背負って立つ若者に広げていくために年金若者組合に青年部をつくり世代を越えて社会保障を考え、より良い社会を築きたいと考えています。(青木昭弘)

やつぱり宝田さん

民間「立憲」臨調に参加

「さわやか女性をつどいで」で「戦争法賛成の議論」についてお詫びします。

訂正

1月号4面「かぶ」の絵手紙は渡辺二三四さんの誤りで訂正してお詫びします。

神奈川年金者文芸

- (俳句)
- お年玉あげる孫居る幸せ日
愛川支部 萩田美智子
燃え残る命のありて雑煮食う
愛川支部 田邊 弘己
千支を聞き互いに歳をはじき出す
港南支部 鈴木 郁子
如何とすこの初春のうららかに
退葉支部 長谷川幸生
黒豆のふつつつと大晦日
退葉支部 長谷川紀美子
元旦の下弦の月の下帰る
退葉支部 根岸こうこ
年一度集ふ一族屠蘇を酌む
秦野支部 高城千恵子
- 富士の峯笠雲二つ重ね餅
秦野支部 松本 サト
背負う物何も無くなり年明けける
秦野支部 内山 朋子
老いてなお余生を思う年の春
保土ヶ谷支部 米山 好晃
地下壕の戦後遺跡や石路の花
磯子支部 のり子
(川柳)
人の世に泣いて笑って生かされて
愛川支部 廣井 瑞
貧困は三万円円でやむやみに
愛川支部 衛藤 佳也
他国領勝手に埋め立て我が領土
旭支部 毛利やすひこ

住まいるnet

年金者組合と建設職人の組合との提携事業
《対応メニュー》新築・リフォーム・屋根・塗装・内装・造園・外構・白アリ駆除・畳・設備水周り・ハウス

フリーダイヤル
0120-88-5593

〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-19-3
建設プラザ4階 神奈川建設労連 045-534-9962